



高島幼稚園だより

令和 7 年 6 月号
板橋区立高島幼稚園
板橋区高島平 2-1 8-1
TEL 03-3934-5848
園長 井上 朋子

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園
ホームページ



50 周年
キャラクター
「たんたん」



遊びを通して学んでいる子どもたちの姿から

園長 井上 朋子

先日、夏野菜を植えました。これから大きくなっていく野菜を見て、様々な気付きや発見を楽しみながら、収穫をするのが楽しみです。

子どもたちは、今、自分がやりたいことを見つけながら、様々な遊びを展開しています。

靴を脱いで素足で砂場へ行く子がいました。砂の感触が気持ちよくて、裸足になって砂の上をぐるぐる歩いたり、立ち止まったりしています。そのうち、気持ちよくなって砂の上に、寝転ぶ姿がありました。体中で砂の感触を楽しんでいるのです。先生も一緒に仰向けになり、子どもの気持ちに共感しています。砂のやわらかさ、ひんやりした感じ、さらっとした感覚などを自分の体全部で感じることで、その心地よさや心が解放される感じ、自らやってみたくなる気持ちなどを味わっています。



園庭の端の方では、数人が頭を寄せ合って、一つの入れ物の中の様子をじっと見えています。入れ物の中には、土が入っていて、コガネムシやカナブンの幼虫がいます。他に、園庭の木の实や葉なども見えます。幼虫をつかまえた時に、周りにあった実や葉なども、入れたそうです。幼虫がいた所と同じ環境にしてあげるといいことを知っているのです。その後、土の中を確認するかのようになり、一度、中を出してみるようになりました。ここでは狭くてあけることが難しいことが分かると、みんなが協力します。



「みんな、ちょっと後ろに下がって」、そこで見ていた子どもたちは、少しずつ後ろに下がって空いた場所を作りました。入れ物の中に入っている物をすべて出して、幼虫がいることを確認すると、また、入っていた土や実、葉などを先に戻して、幼虫を土の上に置きました。幼虫が土の中に自分でもぐっていく様子をまたじっと見えています。好奇心をもって生き物に関わることが、生き物を観察する学びにつながっています。

2階のホールでは、子どもたちが大型積み木で遊んでいました。積み木の角と角を合わせながら、組み立てた上に乗ることができる家を建設中です。作りながら自分のイメージに合った積み木の形を探して、本物の階段のように作っていました。使用する積み木は、子どもたちの年齢や発達に応じた素材や大きさの物を子どもたちの環境の中に取り入れています。適した環境の中で、子どもたちは遊びを通して、数量や図形に関心をもって過ごしているのです。



多くの気付きや発見を楽しむ時間がたくさんあるからこそ、多くのことを学んでいます。子どもたちの何気ない遊びは、大切な学びとなっているのです。これからも、未来を創っていく子どもたちを大切に育てていきながら、成長を見守っていきます。